



我が家の 子育てスタイル

(財) 地方公務員等ライフプラン協会 河本敦彦

“イ

クメン”といえば、2010年度の流行語大賞にもベスト10に入った最近よく耳にする言葉です。インターネットで検索してみると「育児を積極的に率先して行う男性、育児を楽しんで行う男性、育児休暇を取得して子育てに専念している男性」などとヒットします。

私自身、今年から幼稚園へ通う長男と6ヶ月の長女がおり、2児の父親なのですが、育児休暇は取得したこともなく、残念ながら「イクメン」に当てはまるとは思えません。「育児を楽しんで行う」に、「子どもと一緒に楽しむ」も含まれるのならば、該当している面もあると思う程度です。

最近では、父親向けの育児に関する本も多く販売されています。私も1、2冊読んでみたことがあります。『父親の読み聞かせは母親の3倍の効果』『子どものために会社を休もう』など、読むと納得させられ、父親の生活習慣が子どもへ与える影響は非常に大きいようです。しかしながら、いざそのとおり実行するとなるとなかなか難しいものです。

我が家では、「子育て」において次のようなことに気をつけています。

- ①怒るよりは“しかる”……できる限り感情的にならず、しかるように気をつけています。また、しかる時は駄目な理由を伝えるようにしています。
- ②挨拶をする……当たり前ですが、おはよう、おやすみ、ただいま、お帰りなど、子どもに伝えるようにしています。
- ③家にいる時はできるだけ遊ぶ……土日や早く帰宅した時には遊び相手をし、その日の出来事（幼稚園のことなど）を聞くようにしています。

その他には、④子どもは9時には就寝、⑤できる限り本をよむ、⑥子どもの前では悪口はいわない、⑦食事

の時はテレビをつけない、などがあります。

勿論、どれが正解ということはありません。各家庭色々な考えがあるでしょうが、“良い”と思われることを信じ、取り組んでいます。

世間では、育児の考え方や取り組むスタイルの情報が多く出回っており、その中で親の信念を持って“子育て”に取り組むことは大切なことですし、責任だとも思います。

ただ、私としては、“子育てする（色々子どものことを考え、教育する）”ことの前提として、シンプルに“子どもと一緒に生活することを楽しむ”ということが、非常に大切ではないかと思います。

それは、今まで一緒に暮らしている中で、子どもの成長ぶりや行動に色々驚かされたり、気づかされたりすることも多く、大人も子どもも一緒に成長しているような気がするからです。また、子どもがいるからこそよく行く場所（動物園や水族館など）でも意外に今まで知らなかったことを学んだりすることもあるのです。

ですから我が家では、“子どもと一緒に生活することを楽しむ”スタンスで子育てしております。

今後も、子どもと一緒に色々ものを見たり、感じたり、できるような機会をつくり、お互いに“家族での生活を楽しむこと”を満喫できるよう心掛けていきたいと思っています。

